

1. 活動の概要

9月2日(木)の午後、松江市立島根小学校で「心に残る文化財子ども塾 奈良の大仏と古代の島根町について」を開催しました。

前半は教室で、県の名前や小学校の名前でもある地名島根の由来について、大仏が作られた頃の『出雲国風土記』に記されていることや、島根県からも大仏作りに地金となる金属が持ち込まれたことなどを学びました。

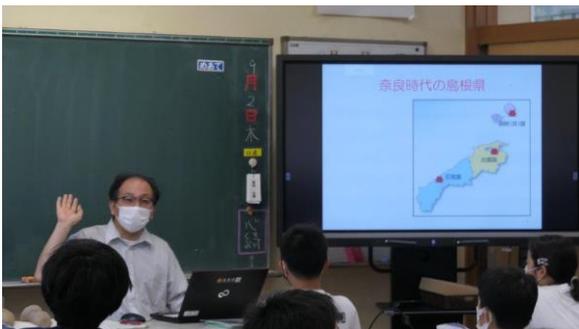
つづいて、校区である大芦にあった宮尾横穴墓について、横穴墓とはどういうお墓であるか、発掘調査の様子、そして出土した土器を見学しました。土器については松江市教育委員会の協力により、実際に手にとって見学することができました。それぞれの土器を一人ずつ順番にみたので、長い列ができました。

後半は、体育館での大仏作りです。一番下の台座の部分だけ並べてある大仏パネルを組み立てます。頭の方にいくにしたがって、だんだん台座からずれてきます。どこを基準にそろえていくか、計画性と皆の協力が必要です。その当たりを皆で調整して、きれいな大仏さまが完成。みんなで記念写真を撮影しました。大仏作りが終わった後は、質問コーナーです。「校区の中にも偉い人(豪族)が居たのですか」「大仏の眉間にある印は何ですか」など、地域の歴史や組み立てた大仏についての質問がたくさん出ました。

最後は、片付けです。コロナウイルス蔓延下なので、パネルの端をアルコールで消毒して終了。ありがとうございました。

2. 活動の様子

1) 奈良時代の島根や校区の遺跡(宮尾横穴墓)を学ぶ



奈良時代の島根県について学習



宮尾横穴墓出土土器を手にとってみる

2) 大仏づくりの体験



大仏組み立て中、ズレが大きくなっています。



立派な大仏が完成しました。

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・(体験)大仏が大きかったことがわかった。
- ・(体験)大仏をみんなで協力して作れた。
- ・(もっと知りたいこと)たて穴住居や古墳に入りたい。
- ・(もっと知りたいこと)他のいろいろな土器をみたい。
- ・(もっと知りたいこと)まが玉作り。

2)担任の先生から…

- (よかったこと)貴重な体験を子どもたちができたこと。
- (よかったこと)大仏の大きさをパネルを製作することで実感できた。
- 少し難しい用語が出てきたのでもう少し丁寧に説明してもらえると良いです。

3)古代文化センターから

奈良の大仏と古代の島根町についての学習はどうでしたか？最初のあたりは少し難しかったかも知れません。それでも、皆さんからは質問もたくさんもらったので、きちんと学習できたのではないかと思います。

古墳の話は大人気でしたね。島根県内には多数の古墳があり、松江市の八雲立つ風土記の丘などでは簡単に見学できるものもあります。ぜひまたご家族の方などといっしょに見学してみてください。

大仏パネル作りは、作りなれていると私たちも終わってみると「やはり大仏は大きいんだな」と感動します。パネルでの大仏の作制でもそうですが、ものごとを計画的に、協調性をもって進めないと大きな仕事は完成しません。自分たちの体験を通して、奈良時代に実際には金属でこの大仏を作ったことについて、考えてもらえると良いと思います。